

## 広報とうべつ 4 コマ選手権 一般の部 最優秀賞

### みうら たいこ さん



「ほんわか家族」にはキャラ設定もあります



4年間で2,200人以上の似顔絵を描きました！



町の子育てガイドブックの表紙・挿絵も担当

#### 夢見るタマゴたちの力に

日本ではまだまだクリエイティブな仕事に対して、価値を低く見る傾向があります。教え子たちの中にも才能あふれる子がたくさんいますが、絵を描くことを仕事にし続けられるのはほんのわずか。教えている立場としては、それが本当に残念でなりません。無から作品を生み出すのは多大なエネルギーを必要とします。例えば、1週間かかって描く絵に1万円の値しかつかなかつたら、1カ月で収入4万円。とてもじゃありませんが、生活なんかして行けません。なので、クライアントに価値を正しく理解してもらえるよう、マーケティングの手法も勉強しています。これからも好きな絵を仕事にしたいと思っている若いクリエイターたちが夢を実現できるよう、お手伝いをしていきたいです。



今回は「広報とうべつ 4 コマ選手権」で一般の部・最優秀賞を受賞したみうらたいこさん（獅子内在住）にお話をお聞きしました。

#### 子どもの頃の夢は漫画家

札幌市で生まれ、子どもの頃から絵を描くことが大好きでした。近所のお姉ちゃんにももらった萩尾望都さんの「ポーの一族」に感動。もちろん、将来は漫画家になることが夢でした。中学からは漫画研究部にも所属していましたが、バスケット部でスポーツに明け暮れる毎日に。高校卒業後は、建設機械を扱う一般企業に就職。初めは売上や在庫管理などの事務を任されていたが、販売促進部に異動となるとともに、重機を扱う免許を取得。展示会でショベルカーの作業実演をしたこともあります。

#### 夢をかなえて絵描きに

転職となったのは、会社の広報誌の作製を任されたとき。私が作った原案を、広告代理店の方がオシャレでかわいらしい作品に仕上げしてくれ、「私もこんな仕事がしたい！」と心に火が付きまして。

一念発起して、8年間務めていた会社を退職。職業訓練校で建物のパースなどのデザインを勉強しました。その後はフリーのイラストレーターとして活動し、漫画の背景アシスタントや雑誌の挿絵などを担当。結婚と出産を機に一時休業し、当別にやってきました。現在は、札幌マンガ・アニメ＆声優専門学校で非常勤講師として教鞭をとる傍ら、似顔絵アーティストとしても活動しています。

#### 久しぶりの4コマ漫画

4コマ漫画選手権は広報誌を見て応募。自分で考えて4コマを書くのは久しぶりで、ネタを考えるだけで何日もかかりました。それから下書き、仕上げまでさらに数日…。この作業を43年も続けていたと思うと、「正くんファミリー」の作者・北本久美子さんには本当に頭が上がりません。

「ほんわか家族」は、もちろん正くんファミリーのオマージュ。小さな女の子をメインとした家族ものにしてみました。最優秀賞の受賞を聞いたときは、本当にうれしくて、友人からもおめでとうLINEがたくさん届きました。